

ちくし 法律事務所

The guardians of Rights
2016 NEW YEAR NEWS



SPACE Kiriko Obba ©

「暖かな世界、明るい未来…」

ペーパー・スクリーン版画 大場 敬介



弁護士
稲村 晴夫

Haruo Inamura

昨年は戦後七〇周年。

昭和史に詳しい作家の半藤利利さんによると、日本の社会は四〇年周期で変わると言われています。

明治維新から富国強兵を目指し、四〇年後、日露戦争に勝利（一九〇五年）。

日露戦争から海外進出をはかって四〇年後に敗戦（一九四五年）。

戦後高度経済成長を達成し、四〇年後にバブル崩壊（一九九〇年）。

その後低成長と停滞の時代となつて今日に至る。四〇年周期説によると、二〇三〇年頃に日本は大きな変革期を迎えることとなります。

これから二〇三〇年頃にかけて、日本の社会が大きく変わっていくことは間違いないさぞうです。

これから先どのような社会をつくっていくのか、私達国民ひとりひとりに問われることとなります。

私自身は、平和・民主主義が最大限尊重され、国民の人権と暮らしが何よりも大事にされる社会を目指していくべきだと思っています。

当事務所も創立から三〇年を過ぎ、変革の時代の中で次の四〇周年に向かっていくこととなります。

筑紫地域の皆様のお役に立てる事務所を目指すとの原点を踏まえながら、これからも所員一同努力してまいります。

本年も皆様の当事務所に対するご支援をよろしくお願い申し上げます。

本年も皆様の当事務所に対するご支援をよろしくお願い申し上げます。

本年も皆様の当事務所に対するご支援をよろしくお願い申し上げます。

寄稿

地域に無限の可能性を

合同会社レインボーローズ 訪問看護ステーションはるか



合同会社レインボーローズ 訪問看護ステーションはるかは平成23年9月に設立しました。「訪問看護って何をしてもらえるのですか？」初めて利用される方からの第一声は大抵ここから始まります。訪問看護とは、病

気や障害を持った人が住み慣れた地域やご家庭で、その人らしく療養生活を送れるように、看護師等が生活の場へ訪問し、看護ケアの提供、自立への援助、療養生活を支援するサービスです。当事業所は主に精神科疾患の利用者様を訪問させて頂いております。

「うつ病」：世間でもよく耳にする言葉になってきています。現代はストレス社会とも言われるように、多くの人があらゆるストレスにさらされながら生活を送っています。特に30〜50歳代の年齢層は収入や仕事関係、人間関係

にストレスを強く感じており、うつ病を発症する方も少なくありません。

「誰に相談したらいいのだろう。」「身体がきつくて動けない。」「この先どうやって生きていけばいいのか。」「家族にも見放されてしまっただ話し相手もいません。」「私達は、そういった悩みや不安を抱えられている方のご自宅へ訪問に行き、共に悩み、解決策を見出していく仕事をしております。

訪問看護ステーションはるかは

1 利用者様が、豊かで安心した生活を送れるように利用者様の意志と人格を尊重し、常に利用者様の立場に立ってサービスの提供に努めること。

2 地域・市町村・他の保健医療サービス、福祉サービス提供者との密接な連携に努め訪問看護を行うこと。

3 医療、保健、福祉のスペシャリストとして、常にプロ意識を持ち、看護を提供すること。

を理念に掲げています。

事業所名のレインボーローズは花言葉で、無限の可能性です。人間誰しもが無限の可能性を秘めており、やってみることはできない!!というコンセプトを基に日々努力しています。人と人の繋がりを大切にし、支え合い、助け合うことで安心した生活が送れるようサービスを提供しています。入院期間が短縮化している今日、自宅での生活を不安に感じているのは本人のみならず、その家族も同様です。私共は行政

機関や病院・関連施設と密接に連携をとり、地域で、社会で生活できるように支援させて頂いています。当事業所のスタッフが笑顔と元氣届けにいきます。一人で悩まず、まずはお電話を。あなたもきっと笑顔になれるはずですよ。

ちくし法律事務所の弁護士の方々には当事業所の顧問としていつも相談にのって頂いております。地域とともに歩む事務所として地域に貢献していきたいと考えています。よろしくお願ひします。

プロフィール

- 平成23年7月 合同会社レインボーローズ 設立
- 平成23年9月 訪問看護ステーションはるか 設立
- 平成26年6月 訪問看護ステーションはるか 太宰府店 設立

各ジャンル（保健師・看護師・精神保健福祉士・心理士・作業療法士・理学療法士）のスタッフと共に頑張っています。

寄稿

生きがいとしての音楽



楠本 隆一
Takemoto Kazuo

プロフィール

1981年、武蔵野音楽大学大学院修了。
故早川穂積、鈴木洋、ジャン・ニコ、ウィーンにてスケーレルの各氏に師事。
1980年より毎年リサイタルを開催。
1991年より、指揮者として北九州交響楽団、別府市民交響楽団、九州交響楽団などを指揮。ブダペストにてM.ティートリッヒ教授のもとで学ぶ。
現在、大分県立芸術文化短期大学非常勤講師。北九州音楽協会理事。

ました。音楽へ向かう時は、演奏者の1人1人の個性が大切であり、技術も必要だが常に人間性を豊かにすべきであることを教えられました。

「音楽で飯が食っていけるのか？」
腎臓病を患い人工透析を受けることになった亡父は、病院のベッドの上で不安そうに尋ねました。5歳でピアノに出会い音楽の道を夢見ていた私は、この頃には音楽家になることしか頭にありませんでした。

父は、戦争の混乱期の中でまともな教育を受けることもできませんでした。音楽家！貧乏の構図が見えていたのでしょうか。父の強い反対に遭い一時はピアノを中断して小倉高校に進学しましたが、夢諦めきれず、武蔵野音楽大学ピアノ科へと進みました。

大学で出会った恩師・鈴木洋先生には、二度の演奏へ傾ける深く真摯な姿勢に他の迫力を許さないものがあり

ました。音楽へ向かう時は、演奏者の1人1人の個性が大切であり、技術も必要だが常に人間性を豊かにすべきであることを教えられました。

大学院を修了して地元福岡へ戻り、私が最初に始めたことは音楽を目標とする子どもたちにピアノを教えることでした。昼間は短大の音楽科で教え、帰宅すると自宅で多くの子供たちと接しました。夜は私自身の演奏会に向けて遅くまで練習です。学生の頃以上に音楽漬けだったかも知れません。

私はピアノリストでもありませんが、多くの人と共に音楽を分かち合いたいという思いを常に抱いていました。この気持ちから憶れていた指揮者への転機は、30歳を過ぎたころに訪れます。

急病の指揮者の代役で、急速オーケストラの指揮台に立つこととなりました。この舞台をきっかけに、北九州交響楽団の指揮者としてオーケストラのキャリアを本格的にスタートさせました。

北九州交響楽団はアマチュアオーケストラ、つまり、日常は全く別の仕事をしている様々な職種の方が音楽を好きという気持ちだけで集まったものです。このように純粋に音楽を愛しておられる方々と共に音楽を楽しみ、練習後には皆でお酒を酌み交わしながら実に多くの話題に花を咲かせる時間は、とても楽しく充実したものに感じました。

年齢を重ねるにつれ、私の音楽活動は、自身の演奏や後進の育成のみならず、こうした生涯学習との係わりへの比重が大きくなっています。

近年では、アマチュア合唱団「飯塚第九の会」のトレーナー、及び同合唱団が主催する「第九交響曲演奏会」の指揮を務めています。楽譜も読めず、ドイツ語も初めての方々と共に立派なベートーヴェンを演奏することが出来ています。最高齢は89歳！正に歌うことが生きる糧となっておられます。

こうした活動を通じて、恩師の

「常に人、音楽個々へ真摯に向かい合う」「演奏会に大きい小さいもない」の姿勢が頭に浮かびます。オーケストラ・合唱団と二口に表現されますが、その中には個々の想いと人生があります。私は、自身の音楽活動の中でこのことを忘れたことはありません。

娘は私と違う道を歩み、ちくし法律事務所にて弁護士として勤務することとなりました。しかし、私が音楽を通じて人々から学び大切にしてきたものは、人と向かい合う今の娘の仕事と共通するものではないかと考えています。

娘の事務所の事務局行田さんはヴィオラ奏者で、度々共演させて頂いています。これも嬉しい縁ですね。

私にとって音楽は「生きがい」ですが、指揮者として団員の皆さまの「生きがい」を共にできますことは、さらに大きな喜びがあるように感じています。



SARU Keisuke Obba ©

事件報告

欠陥建築の業者と闘う



弁護士
森 俊輔

Shunsuke Mori

してもらおうと明らかに傾いており、健康被害が生じてもおかしくないレベル。基礎工事の状況を確認しても、到底、人が毎日利用する建物の工事とはいえないほどに杜撰なものでした。

依頼者の方と相談して施工業者を訴えたところ、「傾いているかどうかは直接確認していないので分からない」「工事費用を抑えてほしいとお願いされたので仕方なくこうなった」「そもそも低額で建てているのだから、その金額以上の賠償を求めるのはおかしい」などと反論してきました。いくら工事費用を抑えてほしいとお願いしたとしても、傾いた建物を造っていい理由にならなりません。もちろん、欠陥建築によってその他の被害が生じているのであればその賠償をしなければならぬのであって、建物の金額に制限されることもありません。

結局、この事件は、施工業者の全

額費用負担によって、建物を持ち上げ、基礎工事をきちんとやり直してから建物を戻す…という大掛かりな補修工事を行うほか、一定額の金銭を支払ってもらおうという形で解決に至りました。

「家」は人生で最も大きな買い物です。誰一人として「欠陥住宅に住みたい」という人はいません。しかし、欠陥建築（住宅）は決して他人ごとではありません。弁護士は裁判だけをする仕事ではありません。「何かおかしい」と思ったときには一度、気軽ににご相談にお越しください。解決への道筋をお示しできるはずですよ。

最後に、欠陥住宅の被害に遭ってしまった依頼者の方やそのご家族の新生活が幸多いものとなりますように。

横浜市の某大型マンションで杭の打ち込みが足りない等の「欠陥」が明らかになった件。多くの方がニュースをご存知ではないでしょうか。「大手有名業者の施工だから大丈夫」とは言えない現実が突きつけられています。

実際に、安全な地盤まで達する基礎工事をしていなかったために建物が傾き、建物利用者にめまいなどの体調不調まで生じているという事件を扱いました。建築士の方に計測を



KURO Kinsuke Ohba ©



井 護 士
浦 田 秀 徳
Hidemasa Ueda

「ポジティブ心理学」なるものが注目されています。それによる幸せに

なるための10の方法。

- ① 1日3回以上「ありがとう」を言う、②モノより経験を買う、③幸福はお金で買えない(ある額に達すると、それ以上の収入は幸せと関係しなくなる)、④ 1日8回擁護する、⑤ たくさん笑う、⑥ 幸せな人と一緒にいる、⑦ 人に親切にする、⑧ 仕事前に運動する、⑨ ポラントイアをする、⑩ 借入のためにお金を使う。なるほど、最近、心がけています。そのせいか幸せ度がややアップしました。というわけで、ありがとうでございます。



井 護 士
追 田 登 紀 子
Tsukasa Endo

小学1年生だった8月6日。輝の大合唱、強い日差し、朝礼台に立つ

その面影とともに、「今から30年前、戦争がありました」から始まった校長先生の話を覚えていてます。福岡大空襲や食べるものがなかった時代の描写が、日本昔話を聞いているかのようでした。

あれから40年。同じ話がなんとなくリアルに感じられる現在に強い憤りを感じます。誰もが共生できる社会を目指して、今年も力を尽くします。



井 護 士
田 中 謙 二
Kenji Tanaka

インターネットの法律関係のコンテンツが増えてますよね。ただ、私の目から見ると、教科書的な内容がほとんどだなあという感じです。教科書的にはそうなるはずだけど、実際の裁判の現場などでは、なかなかそうはならないよな。そう思いながらコンテンツを読むことは、少なくありません。

皆さんのお仕事の世界でも、「実際の現場は、教科書どおりに動かない」と思ったことはないですか？それと同じことだと思います。

というわけで、インターネットの法律関係のコンテンツは、「教科書的な内容としては」という前提の上で読むのには悪くないのですが、それで最終的な結論を下すというには不十分なものだと思います。ご注意を。



井 護 士
井 上 茉 彩
Naomi Inoue

事務所旅行で沖縄に行きました。

若手弁護士4人(1人違う)、民族衣装で変装。日常を離れ、楽しい時間です。浦田弁護士は女装した森井護士と私を比べ、「黄色い女の子の方が合コンでモテそう。」と云々。くそ。

事務所ニュースに父が寄稿することとなり、久々にゆづり話をしました。父の仕事に対する思いなど、なかなか涙を堪えて聴く機会はないものです。今回、良い機会を与えていただき幸せでした。父と同じく、「一人一人と真摯に向き合い、弁護士として頑張りたい」と思います。



井 護 士
山 野 和 也
Kazuya Yamano

九州避難者訴訟弁護団に所属しています。福島原発事故のため、福岡への避難を余儀なくされた避難者に対する賠償を国と東京電力に求めている弁護団です。最近、避難者の方々からお話を聞く機会が増えてます。被害の現れ方は人によって千差万別。被害とはなにか、被害回復のためにはなにが必要なのか等、難しい課題が山積みです。他の事務所の弁護士からも刺激をもらいつつ、被害回復のために頑張りたいと思っています。

う〜ん、思い浮かびません…。
今飼っているトイプードル4頭、
文鳥14羽、十姉妹4羽で十二分に
満たされているので♥
入江



クラゲ!!
水族館に行くといつも、ぶかぶか
浮かんでいるクラゲを眺めながら
眠りに付きたいと思います。
癒される。
堀下



ペンギンです♪
おうちにプールはないけれど、
あのヨチヨチ歩きを見て
癒されたいです☆
小川



私と一緒に庭の草取りをして
くれる草食動物がほしいです。
例えばウサギ。
たいして広くない
庭なのに
反省…。
原田



飼ってみたい生き物



パンタ☆
小学生のころ長蛇の列の
福岡市動物園で、
数分間だけ見れた
かわいい姿〜
モフモフしたパンタの
赤ちゃんを
抱っこしてみた〜い♪
佐々木



飼ってみたい、というよりは
一緒に暮らしたいのは、
クールな猫です。
毎日あたふたと
時を過ごす私を
冷静に分析して
見ていてくれる存在。
行田



犬まみれの中で
暮らしてみたいです。
とくにあえず犬が一番好きです!
あとは非現実的なスナメリ。
毎日あのかわいい顔
を見られたら
癒されすぎます。
吉田



こどものトラ!
大人になったらできなくなるけど、
猫じゃらして
一緒に遊んだり、
あの大きな肉球を
ぶにぶにしたい!
柴田



セミナーのご案内

ちくし法律事務所では、平成23年秋から「セミナー」を定期的で開催しています。
身近で生活に役立つ法律のお話を、ちくし法律事務所の弁護士がわかりやすく解説いたします。
私たちとともに、おとなの手習いはじめてみませんか?

どなたでも参加でき、**受講は無料**です。事前の予約も必要ありません。お気軽にお越し下さい。
平成28年前期の日程や会場は次のとおりのお予定となっております。

②の会場については、まだ予約ができていませんので、変更の可能性があります。
ちくし法律事務所のホームページ(「ちくし法律事務所のニュース」で検索)で確認していただくか、
お電話(092-925-4119)にてお問合せいただくと確実です。

- ①平成28年1月26日(火) 19時〜 筑紫野市・生涯学習センター 弁護士田中謙二による「中小企業法務」の講座
- ②平成28年3月 9日(水) 19時〜 太宰府市・いきいき情報センター 弁護士井上菜彩・山野和也による「家庭と法」の講座
- ③平成28年5月17日(火) 19時〜 大野城市・まどかびあ 弁護士森俊輔による「交通事故」の講座



ちくし法律事務所
CHIKUSHI LAW OFFICE



〒818-0066 福岡県筑紫野市二日市北1丁目1番5号
代表TEL: 092-925-4119
代表FAX: 092-925-4127
URL: <http://www.chikushi-lo.jp/>